

息長っ子



息長小学校だより



令和6年8月28日
第5号
文責 川崎由美子

<https://okinaga-e-maibara.edumap.jp/>



実りある2学期に!



台風10号の接近のために8/28(水)に始業式を行うことができるだろうか心配をしていましたが、何とか無事に行うことができました。とはいえ、気象情報によりますと、台風は近畿地方に刻々と近づいています。子どもたちの安全を最優先に、活動を進めていきます。また、今年も、2学期初めは気温が高い日が続くようです。毎日の授業や各行事において、熱中症対策を行っていきます。

さて、始業式では、広島平和祈念式典について話をしました。

毎年、行われているこの式典の中で、今年も子どもたちを代表して、広島の小学6年生2名が世界中に向けてメッセージを発信しました。穏やかで、静かな話し方ではありましたが、その声には凜とした響きがあり、平和のために自分たちができることを粛々とやり続けるという力強い思いが伝わってきました。息長小学校の子どもたちに1学期から伝え続けてきたことと重なる部分があると感じましたので、始業式の間で紹介し、話をしました。以下がその内容です。

広島の平和式典は亡くなった方へ手を合わせると同時に、平和を祈り、誓うための式典です。その中で、みなさんと同じ小学生が、「平和への誓い」を発表しました。この「平和への誓い」は、私たちにもできることがありますよと教えてくれています。

一人一人が相手の話をよく聞くこと。
「違い」を「良さ」と捉え、自分の考えを見直すこと。
仲間と協力し、一つのことを成し遂げること。
私たちにもできる平和への一歩です。



の一節です。

(全文は裏面に記載しています。)

どんなときでも、友だちの思いや考えをよく聞きましょう。「違い」の中から「なるほど」「へ～そうなんだ」と思えることを見つけてください。もちろん、自分の考えは大切だけれど、友だちの考えを合わせると、もっといい考え方や、アイデアが生まれます。そして、友だちと力を合わせてゴールを目指していくチャンスが、この2学期にもたくさんあります。「平和」への一歩は「なかよし」への一歩であり、「友だちのよいところ見つけ」の一歩なのです。

1学期から皆さんにお話してきた、「自分のよいところを見つける」を、2学期も続けてください。そして、さらに、「平和への誓い」から教えてもらったように、「違い」を「良さ」と考えて、友達のよいところも見つけてください。きっと、1学期よりももっと素敵な学級に、そして、学校になっていくと思います。

全校児童が健康に安全に、そして自信をもってすごすことができ、実りある2学期にしてほしいと思います。今学期もどうぞよろしくお願いいたします。

第2学期の行事予定

9月 2日(月) 給食開始・避難訓練(水難)	10月 25日(金) ~ 26日(土)
5日(木) 身体測定(1・2年) 4年生やまのこ事前学習	修学旅行(キツザニア・奈良)
6日(金) 身体測定(3・4年)	28日(月) 6年生振替休業 2年生校外学習(長浜方面)
9日(月) 身体測定(5・6年)	
10日(火) 口座振替日	11月 1日(金) 4年生環境学習(ヤマムロ)
16日(祝) 敬老の日	2日(土) 息長小150周年記念事業日 (午前:授業 午後:記念事業)
22日(祝) 秋分の日	3日(祝) 文化の日
23日(月) 振替休日	4日(月) 振替休日 5日(火) 振替休業
24日(火) 国スポプレ大会ホッケー観戦 (3年生)	8日(金) ふたばの日学習参観(2校時) 5校時下校(フォーラムのため)
26日(木) 3年生校外学習(消防署)	14日(木) マラソン大会(予備日15日)
27日(金) ふれあい音楽教室(6年生)	18日(月) クラブ活動
10月 1日(火) やまのこ学習(4年生)	19日(火) 4年生福祉学習
11日(金) 運動会前日準備	20日(水) 避難訓練(不審者対応)
12日(土) 運動会(雨天順延)	22日(金) 学校評価(~30日)
14日(祝) スポーツの日	28日(木) 息長フェスタ
15日(火) 運動会の振替休業	
16日(水) 1年生秋みつけ(タンク山)	12月 6日(金) 双葉中親子説明会
17日(木) 5年生校外学習(ダイキン方面)	12日(木) 平和の子(6年生)
18日(金) 河南部音楽会(3年生)	20日(金) 学級懇談会
21日(月) 山津照神社を描こう(6年生) クラブ活動	23日(月) 終業式
	24日(火) ~ 1月6日(月) 冬季休業



8月24日 PTA愛校作業ありがとうございました



目を閉じて想像してください。緑豊かで美しいまち。人でにぎわう商店街。まちにあふれるたくさんの笑顔。79年前の広島には、今と変わらない色鮮やかな日常がありました。昭和20年(1945年)8月6日 午前8時15分。「ドーン!」という鼓膜が破れるほどの大きな音。立ち昇る黒味がかかった朱色の雲。人も草木も焼かれ、助けを求める声と絶望の涙で、まちは埋め尽くされました。

ある被爆者は言います。あの時の広島は「地獄」だったと。原子爆弾は、色鮮やかな日常を奪い、広島を灰色の世界へと変えてしまったのです。被爆者である私の曾祖母は、当時の様子を語ろうとはしませんでした。言葉にすることさえつらく悲しい記憶は、79年経った今でも多くの被爆者を苦しめ続けています。

今もなお、世界では戦争が続いています。79年前と同じように、生きてくても生きることができなかった人たちが、明日を共に過ごすはずだった人を失った人たちが、この世界のどこかにいるのです。本当にこのままでよいのでしょうか。願うだけでは、平和はおとずれません。色鮮やかな日常を守り、平和をつくっていくのは私たちです。一人一人が相手の話をよく聞くこと。「違い」を「良さ」と捉え、自分の考えを見直すこと。仲間と協力し、一つのことを成し遂げること。私たちにもできる平和への一歩です。

さあ、ヒロシマを共に学び、感じましょう。平和記念資料館を見学し、被爆者の言葉に触れてください。そして、家族や友達と平和の尊さや命の重みについて語り合しましょう。世界を変える平和への一歩を今、踏み出します。

